

2017年12月22日

「プロジェクト ジャパン エンターテインメント」に電通が資本参加のお知らせ

講談社が推進するライド型 VR アトラクション向けソフトの企画・プロデュース会社

Brogent Japan Entertainment に電通が資本参加

—国内外の優良 IP を活用し、新たなエンターテインメントビジネスを展開

株式会社講談社（本社：東京都文京区、代表取締役：野間 省伸）は、台湾のライド型 VR アトラクション機器の開発・製造会社「Brogent Technologies Inc.」（プロジェクト テクノロジーズ インク、以下「BGT」）と合併で、2016年8月、ライド型 VR（仮想現実）ソフトの企画・プロデュース会社「Brogent Japan Entertainment 株式会社」（プロジェクト ジャパン エンターテインメント、本社：東京都文京区、代表取締役：古川 公平、2016年8月設立、以下「BJE」）を設立しました。今回その「BJE」に、株式会社電通（本社：東京都港区、社長：山本 敏博）が資本参加しました。

2011年に台湾株式上場の BGT は、高度な制御技術をはじめ先端技術の開発力を持ち、世界各国で供給実績を急激に増やしている新鋭のライド型 VR 機器メーカーです。同社が提供するライド型 VR 機器（以下、「BGT マシン」）は大型シリンダーによって制御されたプラットフォームが映像に連動して 6 方向にダイナミックかつ精細に稼働するシアタータイプのアミューズメント機器で、北米や欧州などを中心に 7 件の導入実績を持ち、近く中東や中国での運転も開始される予定です。

この「BGT マシン」は、一度に多人数のユーザーを搭乗させることができ、コスト面からも経済的であり、使用するソフト（映像＋プラットフォーム駆動のプログラム）も簡単なパソコン操作で瞬時に差し替えることができる特徴があります。

講談社は BGT マシンの独自性と優位性に着目し、その日本市場への導入支援を行いながら、自社が管理する漫画やアニメーションなどの知的財産権（以下「IP」）を使用した BGT マシン用 VR ソフトの開発を行い、この新領域におけるライセンス事業の拡大を推進しています。これまでに、国内の富士急ハイランド（山梨県富士吉田市）や台湾で稼働している BGT マシンに「進撃の巨人」を使用したソフトを供給しています。

今回の資本参加では、電通の有するソフト開発力及び営業ネットワークと、講談社が有する幅広い IP ホルダーのネットワークを結合することで、BGT マシンの新たな導入企業を見だし、ライド型 VR 事業の拡大を図ります。

今後、講談社と電通は、国内の優良な IP を活用した BJE の VR ソフト開発や、国内外のアミューズメントパーク運営事業者、ショッピングモールなどを運営するリテール事業者に対する BGT マシンの紹介業務を支援していくとともに、それら事業者が行うマーケティング活動を支援してまいります。

■主な BGT マシン

① i-Ride

- ・高さ 19 メートル、幅 22 メートルの大型スクリーンに映像が映し出される。

講談社

- ・映像に連動し、1台10人が横一列に並ぶ座席（最大9台＝86人が同時搭乗可能）がダイナミックに動き、特別な浮遊感や疾走感が味わえる。
- ② Q-Ride
- ・iRideの技術を活用したVR型ライド。ユーザーが装着するヘッドマウントディスプレイに連動して、1台12人を乗せた座席がスピーディーかつスムーズに動く。



日本、台湾で公開中の進撃の巨人 i-Ride

<BGTの会社概要>

社名：Brogent Technologies Inc. (BGT)

URL：http://www.brogent.com/

代表者：CEO C.H. Ouyang（欧陽 志宏）

所在地：No.9, Fuxing 4th Road, Kaohsiung 806, Taiwan

設立：2001年9月

資本金：16億562万円

事業内容：ライド型VRアトラクション機器の製造、販売、ライド型VRソフトの開発

<BJEの会社概要>

社名：Brogent Japan Entertainment 株式会社 (BJE)

URL：http://www.brogentjapan.co.jp/

代表者：代表取締役 古川 公平

所在地：東京都文京区音羽 2-12-21

設立：2016年8月

資本金：8,750万円

事業内容：ライド型VRアトラクション機器の紹介、ライド型VRソフトの企画・プロデュース

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社講談社 広報室・小野祐二 電話 03-5395-3410